

新幹線延伸・リニア開業影響対策検討会議 報告書の概要

◇ 計画の作成経緯

計画は、北陸新幹線敦賀開業（令和5年）やリニア中央新幹線名古屋開業（令和9年）といった高速鉄道整備による影響を見極め、その効果を最大限に引き出していくため、有識者による「影響対策検討会議」、府内各課による「影響対策検討プロジェクト」を開催し、影響の整理や実施すべき施策を議論し、とりまとめるもの。

【計画策定のスケジュール】

年月	会議	主な議題
令和元年 7月	第1回 影響対策検討会議	・影響の整理
10月	第2回 影響対策検討会議	・影響の整理 ・施策の方向性
11月	第3回 影響対策検討会議	・とりまとめ（案）の検討
令和2年 1月	影響対策検討会議報告書 市長提出	—
2月	行動計画の策定	—

◇ 新幹線延伸及びリニア開業により考えられる影響

北陸新幹線敦賀延伸により考えられる影響

基本的事項	・北陸や金沢への関心の高まりと来街者の増加 ・関西圏・中京圏との所要時間短縮。他方、敦賀乗継による心理的制約の発生 ・飛行機を介した広域交通網の縮小
観光分野	・広域周遊観光の手段・エリアの充実 ・外国人観光客の増加
宿泊産業・都市開発	・宿泊施設の供給拡大と多様化 ・都市開発の加速（と伝統的な建築物の喪失） ・観光業をはじめとした労働力の不足
経済活動・MICE	・MICE需要の増加 ・企業進出の加速や拠点の統廃合
市民生活	・大都市圏への転出の増加 ・進学や移住による転入者の増加 ・市民と観光客の交流の増加 ・観光客の増加による市民生活への影響の継続・拡大 ・並行在来線の役割の変化と経営への影響

リニア中央新幹線名古屋開業により考えられる影響

	・リニア沿線地域の発展と新しいビジネススタイル・ライフスタイルの創造・普及 ・都市・地域間競争の拡大
--	---

◇ 金沢が目指す都市像

世界の「交流拠点都市金沢」の実現～市民が誇りあるまち～

歴史を礎として、学術や文化などの個性を守り、磨き高めてきた金沢は、他都市に類を見ない資産を有している。その資産を活用し、個性ある新たな価値を創造し続けるためには、人・モノ・情報の交流拠点になることが最も重要であり、本市は、世界の「交流拠点都市金沢」の実現をめざすこととしている。

◇ 計画の方向性

【目標像】

～金沢と他地域とのネットワークによる
「対流」を活用しつつ、世界に開けた、
住む人・訪れる人双方が誇れるまちを創る～

北陸新幹線・リニア中央新幹線による新たな環状ネットワークの構築による他地域と金沢の新たな関係性のなかで、世界の「交流拠点都市金沢」の実現を図るため、目標像と9本の施策を柱を整理した。

◇ 構成

1. 計画策定の背景

（1）北陸新幹線金沢開業までの取組

（2）北陸新幹線金沢開業後の取組

（3）計画策定の目的

2. 新幹線延伸及びリニア開業により考えられる影響

（1）北陸新幹線敦賀延伸により考えられる影響

（2）リニア中央新幹線名古屋開業により考えられる影響

（3）金沢が目指す都市像

（4）新幹線延伸・リニア開業影響対策検討会議での意見概要

3. 施策の体系

4. 施策の方向性

新幹線延伸・リニア開業影響対策検討会議 報告書の概要

◇ 施策の方向性

	施策の内容	実施すべき施策
〔文化・学術・産業〕		
1. 金沢の歴史・文化を活用し、魅力あるまちを創る	①民間活力を活かしながら、美しいまちなみを守り、創出 ②市民や事業者の建築やまちづくりに関するリテラシーの向上 ③金沢の歴史、伝統、文化に触れ、体験・実践できる環境づくり	・保存と開発の調和に向けた土地利用のあり方を検討 ・用水修景の推進 ・建築文化の一般市民への普及促進
2. MICE開催・企業誘致の促進	①ミーティングやコンベンションに加え、インセンティブツアーの誘致と受入体制の構築 ②立地の優位性（交通至便や災害リスクの低さなど）を活かし、企業の進出を促進 ③多様なオフィス空間（サテライトオフィスなど）の確保	・金沢ならではのユニークベニューの実施 ・まちなかにおける多様なオフィス空間の充実など
3. 市内産業の活性化とイノベーション	①新幹線による交流強化を活かし、地域企業や金沢に魅力を感じる経営者や人材を育て、支え、集積 ②A Iなどの技術による企業、市民、観光客の利便性向上	・価値創造拠点（仮称）を中心とするコミュニティの形成 ・研究・教育機関を活用した伝統工芸と最先端技術の融合
〔市民生活〕		
4. 来街者増加と市民生活の良好な調和	①まちの美化・治安維持に向け、指導・監視に加え、「ナッジ」を強化 ②都市内の蓄積を活かした、歩いて楽しめる都市（ウォーカブル都市）の推進 ③市民のもてなし力の向上及び災害時における市民・来街者の安全の確保	・簡易宿所などの管理方法の適正化 ・公園や広場など公共空間の利活用促進 ・災害時における帰宅困難者対策の強化
5. 転入者の地元定着・関係人口化、移住の促進	①進学や移住による転入者に対する、移住支援や居住支援の充実 ②金沢らしいライフスタイル（生活習慣）の継承、発信の強化	・U J I ターン就職・移住の促進 ・転入者に対する、金沢らしい暮らし（金沢の文化、四季、習慣など）の発信強化
〔交通〕		
6. 市内外の移動の円滑化・利便性の向上	①市内周遊の充実や混雑解消のため、まちなかの公共交通などの移動環境の不便を解消 ②新幹線、飛行機、クルーズ、高速バス、レンタカーなどの多様な交通モードへの対応	・I C Tを活用した公共交通利用環境の向上 ・クルーズターミナル整備を契機としたベイエリアの回遊性の向上
〔観光〕		
7. 新たな市内観光の楽しみを創る	①主要観光地だけでなく、市内各所での周遊や体験型観光などを充実し、新たな魅力を提供するとともに観光客を分散化 ②季節や時間帯に応じた細やかな都市の魅力を発信	・卯辰山や金沢港周辺地域など新たなスポットの魅力発信 ・ナイトイベントの内容充実・情報発信の強化
8. 広域周遊観光・滞在型観光の拠点化	①広域交通網の充実を活かし、多様な観光ニーズに対応 ②まちの魅力や宿泊施設の充実を活かし、滞在型観光や二拠点生活の支援	・敦賀延伸沿線都市との連携 ・訪日外国人などを対象としたワーケーションの推進
9. 金沢の魅力を伝え、広める	①金沢の食や生活などの魅力や価値を伝えられるような見える化・情報発信の強化 ②県外(国外を含む)でのプロモーションなどの充実	・新技術を活用した多言語での観光案内の充実 ・関西・中京圏の誘客プロモーションの強化（イベント等）